

碁老連ニュース

第134号

碁老連の目的

老人囲碁同好会の誰もが、生きいきと生命力を維持し“碁を楽しむ”ことができるよう、機会と場所を確保する為に相協力し、囲碁を通じて親睦をはかり、更には、より良き福祉社会に貢献することを念願する。

発行日 平成14年3月23日
 発行所 八王子の碁を楽しむ老人連合
 〒193-0824 八王子市長房町230-17
 T E L (0426) 63-7684
 発行人 小西 徹
 編集者 小池 英一

第11回生きいき浅川囲碁大会のご案内

- 日 時 平成14年4月21日（日）午前9時
- 会 場 東浅川保健福祉センター（東浅川町551-1、電話67-1331）
- 主 催 浅川寿囲碁同好会（会長真田誠次、めじろ台3-12-1、電話63-5107）
- 共 催 八王子の碁を楽しむ老人連合（碁老連）
- 後 援 八王子市、八王子市教育委員会、日本棋院
- 参加資格 八王子に在住している60歳以上の囲碁愛好者（10級以上7段まで）
- 参加費 700円（弁当代を含む）
- 競技方法 クラス別に行い各クラスとも3位までの入賞者に賞状を授与する。
- 特 典 成績により11月10日の八王子大会に推薦する。
- 注意事項 自家用車でのご参加はなるべくご遠慮ください。

第12回碁老連囲碁大会成績表 (1月27日)

参加総人員196名

1組 (7段-6段)

- 優勝 赤崎 一郎 7段
- 準優勝 真田 誠次 7段
- 3位 神宮寺 敏郎 7段

参加者 24名

藤井 忠明 7段	藤井 忠明 7段	藤井 忠明 7段	赤崎 一郎 7段
小川 勇 7段	浅野 照明 6段	五十嵐 寛 6段	下重 利雄 6段
奥山 和英 6段	神宮寺 敏郎 7段	在原 正秋 6段	大場 扶美夫 6段
早川 泰 6段	山本 徳美 6段	城大 次郎 7段	高本 衛 7段
真田 誠次 7段	山本 淳三 6段	梅田 昭二郎 6段	大川 倭男 7段
養田 高尾 6段	野口 博 6段	田村 和昭 7段	北村 雅信 6段

2組 (6段—5段)

優勝	山県 文雄 5段 (6段に昇段)
準優勝	石神 芳雄 5段
3位	塚原 和利 5段
4位	竹下 利男 5段

参加者 20名

中村 義作 6段	中田 勤 6段	中邑 豊 5段	木島 洋治 6段
石神 芳雄 5段	金田 秀正 5段	西山 孝二 5段	竹下 利男 5段
清水 勇 5段	新保 礼次 6段	松浦 辰寿 6段	花井 進 5段
岡部 隆男 5段	梅沢 淳 5段	山県 文雄 5段	大塚 清 5段
上薗 稔 5段	塚原 和利 5段	佐木 豪 5段	林 国正 5段

3組 (4段)

優勝	磯部 信廣 4段 (5段に昇段)
準優勝	石川 義秋 4段
3位	森本 肇 4段
4位	松井 豊 4段

参加者 21名

山岸 伊久雄 4段	石川 義秋 4段	谷 透 4段	藤岡 光四郎 4段
-----------	----------	--------	-----------

松井 豊 4段	八木 義光 4段	祝 藤次郎 4段	池口 隆久 4段
岡本 昭二 4段	根本 忠紀 4段	石井 正之 4段	吉開 孝之 4段
森本 純 4段	岩窪 忠孝 4段	磯部 信廣 4段	山本 金昭 4段
大河原 静 4段	山本 三好 4段	中村 幸雄 4段	佐藤 宗次 4段
倉田 収 4段			

4組 (4段—3段)

優勝 橋本 悅二 4段 (5段に昇段)

準優勝 橋場 政明 4段

3位 竹島 正義 4段

4位 青木 繁昌 4段

参加者21名

刀根 正樹 3段	山際 巍 3段	山崎 稔 3段	竹島 正義 4段
安谷屋 哲一 3段	林 義博 4段	青木 繁昌 4段	横藤田 正 3段
城定 武 3段	石川 哲 3段	池田 悟 3段	安西 実 4段
鈴木 茂 3段	橋場 政明 4段	平 辰雄 3段	松島 清雄 3段
加園 明 4段	霧生 孝男 3段	三浦 和夫 3段	渋谷 昭男 3段
橋本 悅二 4段			

5組 (3段—2段)

優勝 塩津 浩 2段 (3段に昇段)

準優勝 新井 正 2段

3位 藤森 立喜 3段

4位 佐々木 慶兆 3段

参加者21名

赤羽 昭治 2段	馬込 時兄 2段	布施 馨 2段	大野 稔夫 2段
----------	----------	---------	----------

新井 正2段	若林 近生3段	佐々木 慶兆3段	望月 成一2段
山本 林3段	中村 幸男2段	香山 熱3段	佐々木 胖充2段
田中 利孝3段	鈴木 賢一2段	山田 實3段	長島 廣3段
久保 方宏2段	下田 政男2段	吉田 友二2段	藤森 立喜3段
塙津 浩2段			

6組 (2段)

優勝	丸山 郷2段	(3段に昇段)
準優勝	笠原 正2段	
3位	八木 真之助2段	
4位	澤田 卵藏2段	

参加者22名

吉田 征也2段	木所 敏雄2段	澤田 卵藏2段	平田 弘一2段
近藤 亮弘2段	丸山 郷2段	小池 英一2段	雨宮 国蔵2段
安斎 藤夫2段	植谷 昌司2段	八木 真之助2段	江口 満雄2段
安田 実2段	真辺 保幸2段	福島 博隆2段	海老沢 喜好2段
牧 嘉賢2段	田中 駒雄2段	秀島 照次2段	関口 圭司2段
倉井 敏夫2段	笠原 正2段		

7組 (初段)

優勝	後藤 徳夫初段	(2段に昇段)
準優勝	秋田 耕之助初段	
3位	小関 貞満初段	
4位	河津 秀雄初段	

参加者26名

伊藤 茂雄初段	岩松 清初段	佐藤 吉男初段	秋田 耕之助初段
---------	--------	---------	----------

三浦 秀夫初段	柳 保治初段	平佐田 隆初段	大山 芳雄初段
宍戸 金一郎初段	堀口 哲初段	下山 正夫初段	浜砂 勝良初段
河津 秀雄初段	永坂 道雄初段	長原 梢策初段	小関 貞満初段
富井 栄初段	穂積 宏易初段	宮本 忠治初段	菊池 和初段
小峰 貞雄初段	内山 藤雄初段	田中 昌一初段	後藤 徳夫初段
古川 中初段	当間 一郎初段		

8組 (1級—2級)

優勝 中岡 誠 1級 (初段に昇段)

準優勝 清水 明一 1級

3位 松村 昭二 1級

4位 植松 森一 1級

参加者 26名

川幡 喜太郎 1級	中岡 誠 1級	天野 實 1級	谷津 義一 2級
倉田 三 2級	深沢 辰男 1級	塙 雄幸 1級	植松 森一 1級
安藤 義一 1級	和田 利市 1級	武発 悅子 2級	砺波 康治 1級
横島 清次 2級	矢部 藤昭 1級	岸本 哲 2級	長谷場 巖 2級
田部井 功 1級	飯島 望 2級	青木 岩二 2級	清水 明一 1級
飯田 茂彦 1級	本間 邦夫 1級	山根 岩男 1級	川口 芳一 1級
西田 誠 1級	松村 昭二 1級		

9組 (3級—6級)

優勝 高橋 敏彦 3級 (2級に昇級)

準優勝 野口 勝久 3級

3位 伊藤 保江 4級

4位 藤本 淳雄 3級

参加者 15名

小田 了一 4級	大澤 健悟 6級	石川 重治 4級	杉本 晴男 3級
岡田 年弘 4級	野口 勝久 3級	渡辺 清 3級	伊藤 保江 4級
山中 茂 4級	佐々木 正人 3級	大里 宏 4級	石田 豊 3級
高橋 敏彦 3級	箕箸 俊一 3級	藤本 淳雄 3級	

第8回碁老連タイトル争奪戦成績表 (1月27日)**八王子名人戦成績表**

八王子名人 藤森 立喜 3段 (4段に昇段)

決勝戦出場者

藤森 立喜 3段 吉田 国男 2段 真田 誠次 7段 佐藤 宗次 4段

参加者

佐藤 宗次 4段	磯部 信廣 5段	山崎 稔 3段	塚原 和利 5段
半田 武正 6段	岩松 清初 6段	吉田 国男 2段	河津 秀雄 初段
塙 雄幸 1級	松浦 辰寿 6段	藤森 立喜 3段	清水 明一 1級
長島 廣 3段	奥山 和英 6段	奥山 和英 6段	戸野 敦充 5段
下重 利雄 6段	赤崎 一郎 7段	江口 靖穎 7段	真田 誠次 7段

八王子王座成績戦表

八王子王座 神宮寺 敏郎 7段

決勝戦出場者

神宮寺 敏郎 7段 山県 文雄 6段 山崎 修路 3段 浅野 照明 6段

参加者

吉開 孝之 4段	岡部 隆男 5段	松田 礼治 4段	山県 文雄 6段
大山 芳雄 初段	山崎 修路 3段	中村 幸雄 4段	佐々木 延兆 3段
小西 徹 6段	浅野 照明 6段	木島 洋治 6段	神宮寺 敏郎 7段
荒井 正 2段	清水 勇 5段	植谷 昌司 2段	下山 正夫 初段
谷 透 4段			

八王子天狗成績戦表

八王子天狗 大場 芙美夫 6段

決勝戦出場者

大場 芙美夫 6段	中邑 豊 5段	塩津 浩 3段	佐藤 豊志 7段
-----------	---------	---------	----------

参加者

佐々木 胖充 2段	佐宗 源治 6段	佐藤 豊志 7段	中邑 豊 5段
大場 芙美夫 6段	斎藤 達郎 3段	佐藤 要吉 6段	吉田 友二 2段
霧生 孝男 3段	橋本 慎二 5段	秋田 耕之介 初段	山本 林 3段
小川 勇 7段	丸山 郷 3段	小林 富男 2段	穂積 宏易 初段
大野 稔夫 2段	根津 秀雄 2段	塩津 浩 3段	

訂正記事

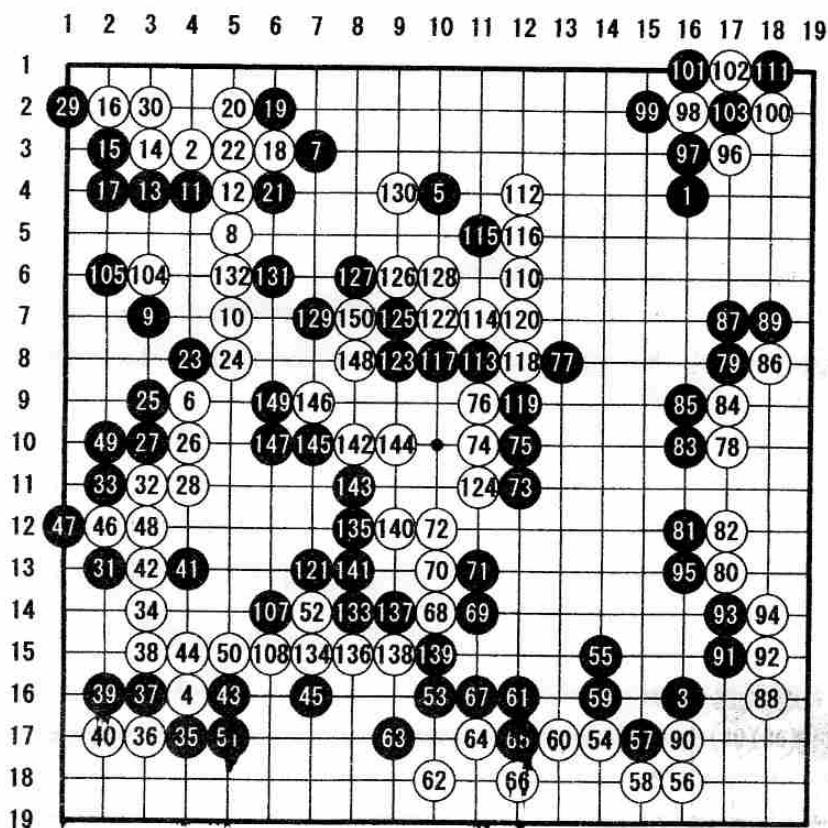
暮老連ニュース第133号の地区別タイトル戦優勝者の氏名や段位の記載が、間違っていましたので、訂正いたします。太字の部分が正しい記載です。

山崎 修路 3段、	岡部 隆男 5段、	大場 芙美夫 6段	荒井 正 2段
佐宗 源治 6段、	橋本 慎二 5段、	磯部 信廣 5段	丸山 郷 3段
山県 文雄 6段、	林 国正 5段	塩津 浩 3段	

タイトル争奪戦 名人戦決勝戦 部分譜(1-150)

対局日: 2002/02/17 結果: 対局中

黒番: 吉田国男 2段 白番: 藤本立喜 3段



(106) [88] (109) [103]

大会の効率化

石川寿閑碁同好会 松田礼治

大会では予戦を3回行い、上位4名が本戦に進むことになっています。トーナメント戦では負ければ終わりですから、予戦を行って3回楽しませてあげようと言う親心から予戦を行うことにしたのでしょうか。

ところが予戦も勝ち勝ち組合せであり、32名では負けた時点で本戦進出の可能性なし、24名では予戦終了時に3勝3名、2勝1敗9名、1勝2敗9名3敗3名で、2勝1敗者9名の中から籤引きで1名本戦進出となります。この数からも解るとおり、実質的にはトーナメント戦です。

予戦の対局表の作成のため運営室では莫大な労力を費やしています。また当日も予戦2、3回戦の組合せ等のため20名前後の対局係りを必要とします。

また参加者側も2、3回戦の組合せのため、かなり待たされ不満が溜まります。

したがって余り意味のない予戦をやめてトーナメント5回戦にすれば事務方の労力も殆ど不要になり、また大会の進捗もスムースになり参加者側の不満も解消されます。

(負けた方は、現在でも番外の消化試合ですから、適当な相手と番外で楽しめばよいと思います)

それで具体的には図の様な対局表を印刷準備しておき、到着順にでも割付ければ、後は自動的に進行します。

皆さん、現役でご活躍の時は業務の効率化に頭を使われたはずです。退職後は活性化のため、なおさら頭の体操が必要です。人数を色々変えてどうなるか検討して建設的なご意見を賜りたいと思います。

(なお予戦を意味あるものにするには、勝ち勝ちの組合せではなく、グループリーグ、スイス方式など考えられます。)

